

カリモク家具が将来の成功に備えるため、 メイド・トゥ・オーダーソリューション、 Furniture On Demand by Lectra を採用

高品質と匠の技で名高いカリモク家具が、レクトラの最新ソリューションを利用して、オーダーメイド家具の課題に対応

課題

カリモク家具は、インダストリー4.0対応のソリューションで生産プロセスを変革し、現在の市場の課題に対応するために、新しいアイデアやテクノロジーを提供してくれるパートナーを探していました。日本を代表するカリモク家具が特に興味を持っていたのは、同社の張り家具生産の大部分を占めるオーダーメイド家具の生産を迅速かつ効率的に生産する方法を見つけることでした。

レクトラの提案

カリモク家具の経営幹部がVersalisの裁断テストのためにレクトラの国際先端技術センターを訪れた際、当時はまだ発売前だったメイド・トゥ・オーダーソリューション、Furniture On Demand by Lectraのデモンストレーションを見学しました。彼らは目にした光景に大きな感銘を受け、この最新ソリューションのアジア初のパイロット企業になることを選択しました。

レクトラのソリューション

FURNITURE ON DEMAND
by LECTRA

カリモクの成功の背景にある重要な要素の1つが改革です。カリモクは1940年に木工所として創業し、1947年に木材パーツの生産を開始した後、1960年に自社ブランド家具の生産を開始しました。この名高い家具ブランドは現在、木製家具と張り家具の両方を扱う総合家具メーカーとして、資材の調達から家具の製造、販売までを一貫して行っており、日本全国に28の営業所と26のショールームを構えています。

くつろげる家具を生産

カリモク家具の顧客は、さまざまな生地、皮革、木材から張り家具をカスタマイズでき、その種類は100種類以上に及びます。同社は1日あたり300件の注文を受け、1件あたり平均3種類の張地を使用するので、1日あたり900件の裁断オーダーを扱うこととなります。300件の注文のうち80%はオーダーメイド家具の注文です。

カリモク家具は、「品質至上」のモットーを体現する家具を生産しており、市場で際立った存在となっています。また、カリモク家具の製造コンセプトは、ハイテクとハイタッチ(匠の技)であり、テクノロジーと手作業の理想的なバランスを追求しています。

プレミアム製品を製造するための新たな方法

レクタがカリモク家具にアプローチした際、同社の専務取締役である林博行氏は次のように説明しました。「当社はオーダーメイド生産を加速化するだけでなく、裁断パーツの品質を上げ、かつ複雑なオーダーを管理したいと考えています。当社の目標は、ファブリックの魅力を余すことなく伝え、製品の高品格化を図ることです」。

このソリューションの柄合わせや地の目を合わせる機能は、林氏にとって特筆すべき機能でした。林氏は次のようにも述べています。「メイド・トゥ・オーダーソリューション、Furniture On Demand by Lectraの柄合わせと歪み補正機能は非常に優れています。カリモクでは最高級の生地を使用しています。柄合わせと歪み補正が完璧にできれば、当社の製品をさらに高いポジションに引き上げることができます」

メイド・トゥ・オーダーソリューション、Furniture on Demand by Lectraと歩むカリモクの未来

カリモクは、メイド・トゥ・オーダーソリューション、Furniture On Demand by Lectraを生産プロセスに導入することで、同社のITシステムと裁断室とを接続し、生地のカットプロセスを変革し、デジタル化することで、世界で通用する基盤を構築することができると考えました。林氏は次のように述べています。「デジタル裁断プラットフォームとVirgaが連携することで、膨大な数の裁断図の管理も不要になります。生産プロセス全体が早くなり、納期も短縮されます」

カリモク家具がレクタのこのプロジェクトに携わることを選択した理由は、レクタの最先端のテクノロジーだけでなく、世界中の家具業界に関する幅広い知識があったことが挙げられます。林氏は次のようにも述べています。「私たちは、生産プロセスを根本的に変えたいと考えており、レクタはこのような大きな変革を行うための理想的なパートナーです」「私は、レクタのソリューションは世界最先端だと思っています。このようなソリューションを生産プロセスに統合することで、当社は引き続き競合他社より一歩先を行くことができます」

林氏は、カリモクの将来の成功のために、メイド・トゥ・オーダーソリューション、Furniture On Demand by Lectraに大きな期待を寄せています。林氏は最後に次のように述べています。「将来的には、1つの拠点から複数の生産拠点を遠隔で操作することができるようになるでしょう。私は、工場と顧客を直接つなごうと考えています。レクタはその夢の実現を手伝ってくれるものと確信しています」。

「当社の最終的な目標は、工場とお客様を直接つなぐことです。レクタがその夢の実現を手伝ってくれるものと確信しています」

林博行
専務取締役

カリモク家具について

カリモクブランドは、高品質で信頼性の高い家具として日本で広く認知されています。カリモク家具は、テクノロジーと創造性を力に、資材調達から、製造、マーケティング、販売までをカバーする総合家具メーカーとして、引き続き品質への追求に取り組んでいます。詳細については、www.karimoku.co.jpのサイトをご覧ください。

@LectraOfficial
LectraFurniture

LECTRA